

ユズ種子油 メタボ予防は

ユズの効用を共同研究している安芸郡馬路村の馬路村農協と高知大、高知工科大の研究グループは、ユズ種子油がメタボリック症候群の予防にどう作用するかを調べており、検証のための研究協力者を募集している。

県産学官連携産業創出研究推進事業に採択された3年間のプロジェクトで、本年度が最終年度。責任者の溝淵俊一・高知大医学部教授によると、非加熱のユズ種子油にコレステロールや脂質の代謝を改善するホルモンの分泌を促す作用があることが、これまでのマウス実験などで明らかになっているという。人での有効性については、20〜74歳の男女約100人に協力してもらい検証を行う。協力者を3グループに分け、あるグループにユズ種子油が入ったカプセル

高知大、馬路村農協など 検証モニター募集中

分を含まない偽薬を、中身を知らせず毎日摂取してもらう。期間は6カ月で、2カ月おきに採血、体組成計で体脂肪率などの計測を行う。

体格指数（BMI）標準22が23以上、30未満の健康な人が対象。何らかの薬を常用している人、脂質や血糖値の改善効果がある特定保健用食品などを摂取している人は対象外となる。採血ごとにクオカード3千円分（全4回で計1万2千円分）の謝金が支払われる。

溝淵教授は「ユズの機能性を科学的に証明し、馬路村農協が力を入れている健康食品の開発にもつながれば」と話している。問い合わせは高知大医学部「高知馬路村ゆず健康講座」(yuzus.edoii@kochi-u.ac.jp)へ。
(井上智)